

## 【SDG s ゴール設置に向けた説明】

SDG s を推進するにあたり、強制力のあるものではありません。

地域で行う社会貢献に繋がる「JC運動」を、SDG s に関連付けて発信することで、社会に対して課題解決を明確にし、インパクトを高める効果があります。また、日本の各地青年会議所が一斉してSDG s の取り組みを示していくことで、新たな連携を生み出し、発信力が高まることから相乗効果が期待できます。

## 【事業例】

### ■ 拡大事業とSDG s ゴール番号の関連性について

～拡大事業の意義～

奉仕・修練・友情を通じた自己成長と、明るい豊かな社会に向けた取り組みです。

人によって価値観は様々ですが、その観点から17のゴールの多くに関連してきます。

#### ① 成長をひとつの目的とした入会者からみた観点

○ ゴール4（質の高い教育をみんなに）が当てはまると思います。



#### ② 地域のためにJC運動を拡げるという地域や社会からみた観点

○ ゴール9（産業と技術革新の基盤をつくろう）

○ ゴール11（住み続けられるまちづくりを）

など、観点を変えることでゴール番号は多様にあるとすることができます。



#### ③ また、手法論として紐づけることも重要です。

○ ゴール5（ジェンダー平等を実現しよう）

社会を改善していくためには女性の活躍が重要であるという発信を行うことで拡大の効果を高めます。



#### ゴール17（パートナーシップで目標を達成しよう）

パートナーを発掘し、連携して目標達成に取り組むことで効果を高めます。

（その他）

- ・ 家族例会（エクスカッションなど）とSDG s ゴール番号の関連性について
- ・ わんぱく相撲大会とSDG s ゴール番号の関連性について
- ・ 地域の祭事参画事業とSDG s ゴール番号の関連性について

